

平成21年1月19日

《よこしん》景気動向調査結果について —平成20年10～12月期実績、平成21年1～3月期予想—

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町 2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】 -27.2（前期）から-43.8（今期）へ16.6ポイント悪化

業況判断は過去最低、来期もさらに悪化を予想

業況判断DIは-43.8と、前期（-27.2）よりも16.6ポイント悪化し、本調査開始（平成4年）以来最低のDI値となりました。業種別では、製造業が対前期で30.7ポイント悪化、非製造業も9.5ポイント悪化しました。来期（平成21年1～3月期）の予想値は、-49.0と5.2ポイントさらに悪化を予想しており、厳しい業況が続くそうです。

【その他主要DI】

<売上額 DI> -20.6（前期）から -37.6（今期）へ 17.0ポイント悪化

<収益 DI> -33.4（前期）から -41.6（今期）へ 8.2ポイント悪化

<在庫 DI> 5.6（前期）から 6.8（今期）へ 1.2ポイント過剰感増加

<資金繰りDI> -19.2（前期）から -27.3（今期）へ 8.1ポイント悪化

<人手 DI> -6.5（前期）から -1.5（今期）へ 5.0ポイント不足感緩和

【特別調査：平成21年の経営見通し】

特別調査の「平成21年の経営見通し」では、日本の景気について悪いと見通す先が9.5割以上となりました。平成21年の各社の業況（景気）については8割以上が悪いと見通しており、売上額についても増加を見込む先は約1割に止まり、減少を見込む先が約6.5割と厳しい見通しとなっています。各社の業況が上向き転換点については、2～3年後と見込む先が半数近くと、昨年調査よりも後退感が表れています。

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）774先

有効回答数：750先

調査方法：各営業店職員による聞き取り調査

調査時期：平成20年12月上旬

その他詳細につきましては、別添の「YOKOSHIN BUSINESS INFORMATION」をご覧ください。

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗